

青少年交流プラザの管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：子ども青少年局＞

指定管理者	名古屋ユースクエア共同事業体		
主な業務内容	名古屋市青少年交流プラザの管理運営業務を適正かつ円滑に実施すること。		
評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月	指定期間	平成29年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	
	(2) 開館の実績	供用日・供用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
	(5) 新型コロナウイルス感染症対策について	新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	利用者数の向上のために積極的に取り組んでいるか。	○	利用者アンケートにおいて、施設の職員に対する満足度が94.6%と9割を超えるお客様に満足いただいた。
	(2) 利用案内・窓口対応	利用者にわかりやすい施設案内ための工夫がされているか。	○	
	(3) 接客態度	接客態度、服装等は適切か。	○	
	(4) 広報・PRの実施	広報・PRは適切に行われているか。	○	
	(5) 利用者満足度	満足度調査を実施し、サービス向上に努めているか。	○	
	(6) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見や苦情について迅速に対応できているか。	○	
4 事業	(1) 事業計画	目的や長期的な視点をもった事業計画を立てているか。	○	ユースカンファレンスにおいて、若者の意見を集約した結果、プラザに求められる青少年育成支援の方法が類型化された。
	(2) 事業参加実績	事業参加者数増に向けて積極的に取り組んでいるか。	○	
	(3) 人につながる支援事業	青少年が他者との関わりの中で受け止められ、安心して過ごすことができ、自立できるよう支援する事業が適切に実施されているか。	○	
	(4) 地域・まちにつながる支援事業	青少年が地域やまちに接点を持ち、地域やまちの取り組みに参加できるよう支援する事業が適切に実施されているか。	○	
	(5) 地域・まちに働きかける支援事業	青少年が主体的に参画したり、地域やまちに対する意見を表明したりできるよう支援する事業が適切に実施されているか。	○	
	(6) 各種団体・施設等との連携	児童館を始め各種施設や各種団体等と連携した事業展開が適切に図られているか。	○	
5 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 使用料	適正に収受・管理されているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から施設の利用者数や事業の実施回数は減少したが、仕様書以上の職員配置を確保し、施設の消毒や、利用者の検温確認等徹底した新型コロナウイルス感染症対策に努め、休館中にはSNSを活用し自宅でできる様々な取組の紹介を動画で配信する等工夫して管理運営されていた。

また、ユースカンファレンスで類型化された青少年育成支援の方法を意識して事業の企画・運営をすることで、事業の質の向上を目指すこととした。引き続き、青少年のニーズを把握し分析を踏まえた事業展開をしていただきたい。広報については、SNSの閲覧者が増えるように工夫した取組など努めていただきたい。

施設の現状

青少年交流プラザ

施設 の 現 状	施設概要							
	社会性および主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を目的とする施設であり、青少年の社会との関わり方の度合いに応じて育成する総合的な支援プログラムに基づき、青少年の自立支援や社会参加・参画活動を促進する取組みを実施するほか、活動の拠点となるプレイルームや音楽スタジオ(2室)、活動室(6室)、ミーティングルーム(2室)の提供などを行っています。また、青少年が気軽に立ち寄れるオープンスペースもあります。							
	市の収支状況(千円) (2年度決算(見込)額)							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	101,703	4,103	105,806	8,014	1,325	96,467	105,806	
	特記事項							
新型コロナウイルス感染症の影響として、令和2年4月1日から5月31日までの期間は、施設使用の休止による使用料収入の減額が発生している。								
管理 運 営 指 標 の 状 況	取組状況							
	指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	社会参加参画に関わる事業参加者数		人	3,889	4,035	4,851	2,527	
	プレイルーム等利用者数		人	84,371	86,785	82,272	36,620	
	オープンスペース利用者数		人	59,312	59,344	55,959	27,685	
	特記事項							
	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年4月1日から5月31日まで、事業や施設の使用を休止。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載